

# 三重県議会議員 小林正人 県政レポート

vol. 30

facebook

皆様からの「いいね!」を  
お待ちしております

<https://www.facebook.com/masato.kobayashi.9421>



三重県議会議員 小林 正人

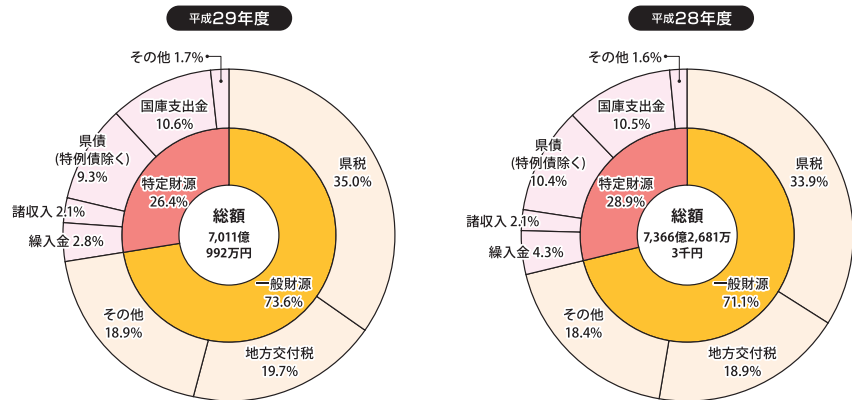
## ご挨拶

早春の候 皆さまに於かれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、時の経つのは早いもので、県議会議員として3期目を務めさせていただき折り返しの2年が経過をしました。この県政レポートも今回が第30号と、毎回議会活動や県の動き等々ご報告させていただきましました。また、その都度皆様方からご意見やご指示を賜り、そのことを私なりに県政に反映させてまいりました。今号は平成29年度当初予算、財政状況、各部局の新規主要事業等を中心にご報告させていただきたいと思ひます。今後もこのレポートを通じてこれからの県、議会の在り方等、共に考えていくことができれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

## 平成29年度 当初予算グラフ(前年度比にて表示しています)

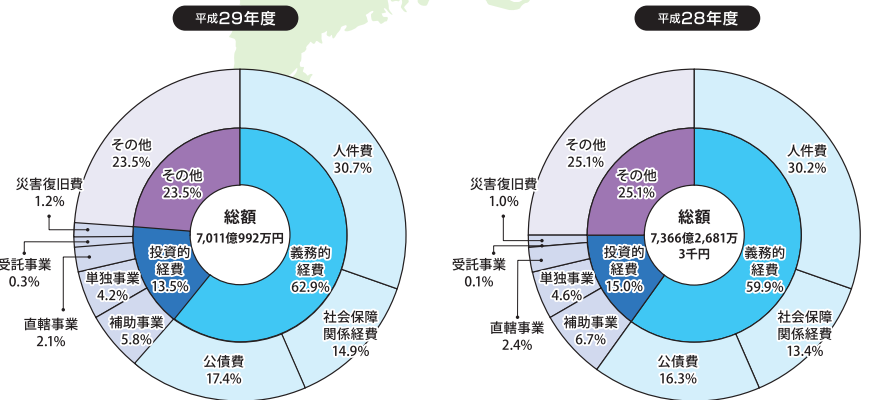
### 一般会計性質別歳入予算の構成割合

(単位:%) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



### 一般会計性質別歳出予算の構成割合

(単位:%) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



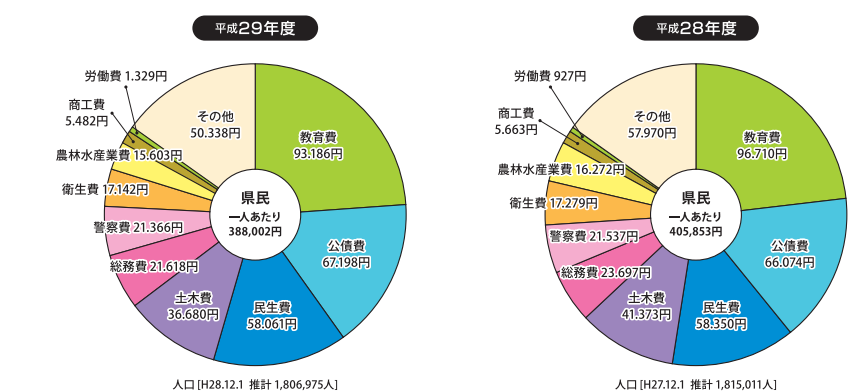
### 財政調整のための基金 残高推移

	H23年度末	H24年度末	H25年度末	H26年度末	H28年度末	H27年度末	H29年度末
財政調整のための基金	86	159	218	246	173	96	10
その他特定目的基金	574	450	385	266	213	177	158
合計	659	609	603	512	385	273	168

平成28年度末は28年度2月補正予算後の残高見込み、平成29年度末は29年度当初予算後の残高見込みです。(単位:億円) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。

### 県民一人当たりに使われる予算額

(単位:円) 四捨五入のため合計に合わない場合があります。



平成29年度当初予算(一般会計)の規模は7011億992万円で、前年度当初予算に対し355億1689万3千円、4.8%の減となっています。歳出の特徴としては、義務的経費(人件費、社会保障費、公債費)が4412億9462万1千円と全体の62.9%を占め、今年度は対前年度比0.1%の減ではあるものの、今後更に増加が見込まれます。投資的経費は949億9363万5千円と前年度と比べると13.8%の減となっています。歳入の特徴としては県税収入で法人二税については、国や地方の経済対策効果、円安による輸出環境の改善による企業業績の好調を受けて増加しているものの地方消費税や個人県民税においてはやや減少傾向にあり、全体では対前年度比1.7%減の2451億8500万円となっております。また、県財政全体の推移を見ても、公債費・社会保障費・人件費・県債残高が年々増加、平成29年度では1兆4004億円となり将来に負担を先送りしてしまう恐れがあります。今後は更に県債等の発行抑制や予算の組み立て等考えていかなくてはなりません。

また、県財政全体の推移を見ても、公債費・社会保障費・人件費・県債残高が年々増加、平成29年度では1兆4004億円となり将来に負担を先送りしてしまう恐れがあります。今後は更に県債等の発行抑制や予算の組み立て等考えていかなくてはなりません。



鈴鹿商工会議所賀詞交歓会



地元自治会新年度総会にてご挨拶



岐阜県瑞浪市にある超地層研究所を現地視察調査(高レベルの放射性廃棄物の安全な地層処分の研究)



磯山、寺家地区にて県政報告(堤防、堀切川、中の川改修等について)



財政的援助団体、補助金交付団体監査結果について知事、副知事と意見交換



議長、副議長に監査結果報告



市内県立高校卒業式への祝辞



## 5年越しに県に訴え続けてきた、新動物愛護推進センター「あまいる」がいよいよこの5月にオープンします!!

三重県では、犬・猫の譲渡や動物愛護教室などの普及啓発活動を一層進めるため、平成29年5月の開所をめざして「三重県動物愛護センター」を整備します。(整備地：津市森町2438-2)



裏面も是非お読みください。



防災対策部

● **新たな防災・減災対策推進事業** 一部新規事業 予算額 19,251 千円  
 「三重県新地震・津波対策行動計画」および「三重県新風水害対策行動計画」を一本化した新たな行動計画「三重県防災・減災対策行動計画(仮称)」を策定します。また、「DONETを活用した津波予測・伝達システム」について県南部地域への展開を進めるとともに、「三重県版タイムライン(仮称)」を策定します。

戦略企画部

● **高等教育機関連携推進事業** 一部新規事業 予算額 5,252 千円  
 「高等教育コンソーシアムみえ」を通じて、「三重を知る」共同授業の開発・試行や学生の地域活動への参画促進に取り組むとともに、地域創生に取り組む市町、地域の支援を行います。

● **大学生版サミット開催事業** 新規事業 予算額 5,960 千円  
 伊勢志摩サミット関連事業として開催された「大学生国際会議in三重」の成果を引き継ぎ、発展させるため、内外の学生が住民との交流や討議を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える大学生版サミットを開催します。

健康福祉部

● **在宅医療推進事業** 一部新規事業 予算額 101,267 千円

在宅医療の枠組み(フレームワーク)に基づき、地域における在宅医療提供体制に向けた体制整備や人材育成に対する支援を行い、可能な限り住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられる在宅医療体制の充実を図ります。また、小児在宅医療について多職種連携や人材育成を推進するための取り組みに対する支援を行います。



● **看護職員確保対策事業** 一部新規事業 予算額 150,996 千円  
 多様な保育ニーズに対応できる病院内保育所の設置に向けた支援の充実を図るとともに、医療勤務環境改善支援センターにおける医療機関のニーズに応じた相談、専門家派遣などの取り組みを通じて、医療従事者の離職防止、復職支援を図ります。また、医療機関や訪問看護ステーション等に対し研修受講に係る費用を補助することにより、認定看護師(認知症看護)の育成を図ります。助産師については地域偏在の解消や助産実践能力の向上を図るため、引き続き助産師出向システムの取り組みを進めます。

● **認知症ケア医療介護連携事業** 一部新規事業 予算額 44,098 千円  
 認知症の早期発見・早期治療につなげるため、より身近な地域で専門的な医療を受けることができるよう、連携型認知症疾患医療センターを新たに指定します。また、医療と介護の連携強化などのため、認知症連携パスの普及・定着およびバージョンアップを図るとともに、市町に設置する認知症初期集中支援チームの活動をサポートします。

● **障がい者の地域移行受け皿整備事業** 一部新規事業 予算額 173,735 千円  
 障がい者の地域移行を進めるため、グループホームや日中活動の場の整備促進に取り組むほか、神奈川県相模原市の障がい者支援施設における事件をふまえ、障がい者支援施設等の安全対策強化のために支援に取り組めます。また、福祉型障がい児入所施設にコーディネーターを配置するなど、過剰児の地域移行を進めます。さらに重度障がい者等が円滑に地域移行できるよう、宿泊体験の機会の提供などの生活支援を行います。

地域連携部

● **移住促進情報発信拠点運営事業** 一部新規事業 予算額 35,000 千円  
 首都圏・関西圏・中京圏での相談体制の充実を図り、きめ細やかな相談を行うとともに、伊勢志摩サミットによる知名度の向上を生かして、大都市圏におけるプロモーションを行う事により、三重県への移住を促進します。

農林水産部

● **東京オリ・パラに向けたアスリートへの野菜安定供給事業** 新規事業 予算額 3,257 千円  
 東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に対応する加工・業務用野菜産地の育成や、アスリートの健康増進に寄与する野菜の生産体制の構築等に取り組みます。

● **三重の農業若き匠の里プロジェクト総合対策事業** 新規事業 予算額 3,857 千円

県内に若き農業ビジネス人材を呼び込み、育成するため、県農業大学校に経営力を養成する新農業コースを設置し、産学官連携による魅力ある受入体制の整備を図ります。



雇用経済部

● **グローバル経営人材育成ネットワーク支援事業** 新規事業 予算額 2,000 千円

県内中小企業の競争力の底上げや強化を図るため、若手経営者を主たる対象に、高等教育機関や支援機関等と連携して、グローバル経営に必要な実践的応用力の鍛錬やディスカッションなどを実施することで、新規事業や連携の創出、経営者同士の人的ネットワーク構築等を促進します。

● **みえ産学官連携基盤技術開発研究事業** 新規事業 予算額 11,393 千円  
 県内ものづくり企業の競争力の強化や付加価値額の増大につなげるため、産学官が連携する研究会を設置し、協働による新技術導入などに取り組み、県内中小企業・小規模企業の基盤技術力の向上を図ります。

● **海外MICE誘致促進事業** 一部新規事業 予算額 21,193 千円  
 安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等MICEの開催を促進するため、営業委託によりセールス体制を強化するとともに、誘致促進のための補助金などのツールを生かした誘致に取り組むことで、本県インバウンドの新たな市場として確立します。

県土整備部

● **建築物耐震対策促進事業** 一部新規事業 予算額 51,243 千円  
 地震に対する建築物およびまちの安全を確保するため、耐震診断が義務化された建築物の耐震診断や耐震改修等の耐震化事業に対する支援を行います。

● **宅地耐震化推進事業** 新規事業 予算額 6,000 千円  
 地震時に宅地被害が想定される大規模盛土造成地の位置や規模を正確に把握するため、第一次スクリーニング調査を実施し、その結果を公表します。

警察本部

● **交通安全施設整備事業** 予算額 1,019,345 千円  
 老朽化した信号制御器や摩耗した横断歩道等について、緊急性や優先度を勘案しながら、計画的な更新・塗り替えを推進します。

教育委員会

● **世界へはばたく高校生育成支援事業** 一部新規事業 予算額 32,381 千円  
 高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来育成塾や、英語キャンプ、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決力を育むため、小中学生が探究的な活動を実践し、その成果を発表するみえ自然科学フォーラムを実施します。

● **明日へつなぐグローバルチャレンジ推進事業** 新規事業 予算額 3,824 千円  
 郷土に関する英語による補助教材を作成するとともに、英語キャンプ、イングリッシュデー、ワン・ペーパー・コンテストを開催することにより、語学力やコミュニケーション能力等に加え、郷土三重についての学習を深め、英語で積極的に発信できる力を育みます。

大雪による被害状況

農業用・畜産用施設、農畜産物の被害状況

本年1月14日から16日にかけての大雪により、北勢地域の農業用施設及び農畜産物に多大な被害が発生しました。この問題に関して、県も市、関係機関と連携を図り、応急対策を実施しておりますが、被害総額約2億4千万という多額なことから国(農林水産省)の支援が必要不可欠であり、私も地元選出の自民党国会議員の方々に緊急に支援要請をさせていただけるようお願いに上がりました。

1月14日から16日にかけての最深積雪量 (津地方気象台等調べ)

桑名地域 …… いなべ市 55cm  
 四日市地域 …… 四日市市 17cm、鈴鹿市 15cm、亀山市 33cm

	水稲育苗	野菜	果樹	花き花木	畜舎	その他	計
農業用・畜産用施設被害 県内合計	46棟 0.78ha 39,175千円	45棟 1.52ha 77,021千円	9棟 0.34ha 21,128千円	36棟 0.53ha 27,047千円	15棟 0.42ha 63,564千円	9棟 0.10ha 6,788千円	160棟 3.69ha 234,724千円
農畜産物被害 県内合計	—	3.03ha 8,660千円	—	0.13ha 2,018千円	畜産物 0.17ha 75千円	—	3.33ha 10,753千円

農業被害額総計 245,477 千円

